

心のチャンピオン

重点目標「思い」「挑戦」「高め合い」

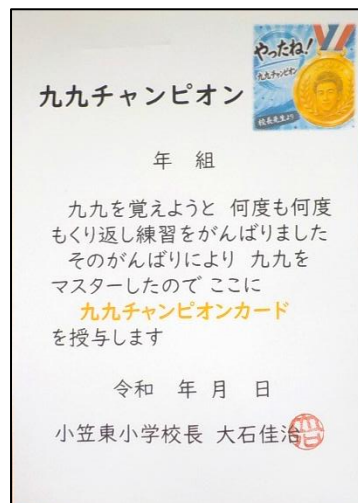
小笠東小学校
学校だより 7月号
令和8年7月1日



←東小ニュースも
見てください

粘り強く最後までやり切る

5月中旬から、九九カードを用いて九九の完全マスターに取り組んできた3年生。一つの段をスムーズに言えるとサインやシールがもらえるため、学校中の先生や家の人に聞いてもらい、どんどんスムーズに言えるようになりました。九九カード3枚クリアで、校長から「九九チャンピオンカード」と「シール」を授与してもらえ、多くの3年生が意欲的に取り組んだのは言うまでもありません。ですが、6月中旬、3年生のがんばる取組が「ローマ字」に変わりました。3枚目をクリアしないままローマ字に移ってってしまうのかなと思っていたところ、4の段と9の段をなかなかスムーズに言えない女の子(Oさん)が校長室にやってきました。確実に覚えないと、この先学年が上がった時に苦労してしまうのは本人です。あやふやな答えに対し私は「OK」を出しませんでした。少し不満そうな感じの顔をしたOさんでしたが、その場で9の段を紙に書き、一緒に何度も言う練習をしました。休み時間ごと校長室に来てはチャレンジし、ついにその時がやってきました。何も見ずに、スムーズに言うことができ、カードの最後のマスが埋まりました。満面の笑みで九九チャンピオンカードを受け取ったOさん。「あきらめずによくがんばったね。先生は**そのがんばりがいちばんうれしかったよ。**」と伝えました。「**難しいから。」「苦手だから。」「と、チャレンジせずに終わらせてしまうと、そこから先もチャレンジすることができなくなります。」「どうせできないから…。」**ではなく、「**がんばったらできた。」「と喜びを感じ、自信に変えてほしい。小さな成功体験でいいので、「がんばればできる」を積み重ねてほしい。そう願っています。**



もう一つ、うれしい姿を紹介します。4年生の国語の授業でその姿は見られました。説明文を100字で要約する学習でしたが、文を書くその集中力に圧倒されました。教科書をにらみつけるように真剣に文字を追い、「この文が大事だ」と思ったところをワークシートに書き込む。「4年生でこれほどまでに集中できるのか。」と正直驚きました。この姿も急にできるようになったわけではありません。日々の授業の積み重ねがあったからこそです。4年生はその積み重ねでここまで成長できたのです。

子供の可能性は無限です。学校では今後も小さな成功体験を積み重ねられるように教育活動を展開していきます。
(文責:校長)

